

回覧用

## 大村市主催の金婚式で、障害者が作った陶器を贈呈

大村市では、結婚50年を迎えた市民を祝福するため、今月29日(金)に金婚式を開催します。その際、引き出物として贈呈される夫婦茶碗は、障害福祉サービス事業所三彩の里(大村市原町)で障害のある方が作製しています。

今回は、大村市長寿介護課の**中村浩樹**係長と、三彩の里の**江口司**理事長にお話をうかがいました。

- お茶碗にはトンボが描かれていますね

**中村さん**「大小のトンボを夫婦に見立て、大きいトンボが小さいトンボを追いかけて、茶碗の中に収まっていくというストーリーなんです。秋という季節にも結婚50年の節目にもふさわしいデザインだと思います。」



左から  
大石課長、中村係長、  
濱崎さん

大石課長、写真撮影にご協力いただき、ありがとうございました！

- 施設に発注してよかった点は？

**中村さん**「金婚式に見合う高級感のある色の陶器ができるまで、いくつも見本を作ってもらえた点です。陶器は上薬の量で色合いが大きく変わるので、理想の色が出るまで打ち合わせを繰り返しました。

あと、大村伝統の三彩焼きなのもよかったですね。」

- 庁舎の清掃も発注してるそうですね。

**中村さん**「元気な施設の皆さんが一生懸命にキレイにしてくれるので、とても助かっています。」



作製する方の中には20年以上のベテランも！  
夫婦茶碗は、市長が代表の方に手渡すそうです。

**江口さん**「障害のある方が、陶器の形成や絵付けなど分担しますが、指先を使うので、機能訓練の面でも効果があるんですよ。」

これから年末にかけて、30年以上続けている干支の置物の作製が本格的になります。『長崎三彩』の伝統を守って、更に質の高い陶器を目指します。」

### プレゼントコーナー

三彩の里作製「縁起干支置物『卯』」(中)を白・茶それぞれ1名様にプレゼント(写真下)。ご希望の方は、お名前、電話番号、感想、「三彩の里縁起干支希望」(色も)と書いて、下のFAXへ10月25日(月)迄にお送りください。



### 障害者施設へ発注すると優遇措置があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」発行部数2564部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年10月8日(毎月第2・第4金曜発行)



100万部！を突破した池上彰さんの「伝える力」で印象的だったのは「よけいなプライドを持っている人は『そこまで』」というくだり。学ぶことは、自分を環境に適應させること。だから、現状を受け入れ、改めるだけの素直さが必要ということでしょうか。我が身を振り返ると、余計なプライドは持ってないと思うのですが...

CSRとは「企業の社会的責任」のことで、消費者が企業を選ぶ基準の1つです。

回覧用

## 障害者が作った手づくりお菓子を、老人ホームで毎週提供

東京ではオーガニック野菜ケーキ専門店がオープンするなど、食材への関心は高まるばかり。特別養護老人ホーム**つばきの里**(新上五島町浦桑郷)でも、**新魚目ひだまり作業所**(同町榎津郷)で障害のある方が作る、自然の素材にこだわったお菓子を提供しています。

今回は、つばきの里の**神之浦剛史**施設長と、新魚目ひだまり作業所の**中谷都喜子**支援員にお話をうかがいました。

- ひだまり作業所のお菓子の人気はどうか？

神之浦さん「お菓子の硬さが、ご高齢の方でも噛めるように配慮されているし、おだんごやケーキなど毎週変わるので、皆さん喜んでおられますよ。」

- 10年以上も前から購入しているんですね。

神之浦さん「障害のある方が作る商品も、以前に比べると認知され始めたのではないのでしょうか。近所のスーパーで施設の商品が販売されていますが、できるだけ買うように心がけています。」

神之浦施設長はお若いですが施設に入所する30名以上の高齢者の福祉を担っていらっしゃいます。



- 障害者のよき理解者で心強いです。

神之浦さん「ヤマト運輸の小倉昌男元会長が障害者施設の経営改革を説いた「福祉を変える経営」(日経BP社)を読んで共感しました。

障害のある方の収入が増え、生活の質の向上にお役に立てれば嬉しいです。」



笑顔が本当に素敵な中谷さん(左)と施設の皆さん。先日、結婚式の引き出物として100セット以上のお菓子セットをご注文いただいたそうです。

中谷さん「当施設は、上五島特産のあご(飛魚)の粉末や、血をきれいにするとされるアシタバを使ったお菓子で、第30回長崎県特産品新作展奨励賞を受賞しました。

お菓子作りでは、生地をこねる、シールを貼るなど、軽度から重度の方まで関わられる仕事があります。個々人の力を出し合い、真心を込めて、安全安心のお菓子作りに励んでいます。」

### プレゼントコーナー

ひだまり作業所の手づくりお菓子セットを3名様にプレゼント(写真下)。

ご希望の方は、お名前、電話番号、感想、「ひだまりの手づくりお菓子希望」と書いて、下のFAXへ11月12日(金)迄にお送りください。



障害者施設へ発注すると**優遇措置**があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」発行部数2563部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年10月22日(毎月第2・第4金曜発行)

今までに読んだ販売促進の本の中で、5本の指に入るほど素晴らしかった「『A4』1枚アンケートで利益を5倍にする方法」。手法は簡単ですが販売の本質を突いており、効果も絶大。この本の著者、岡本達彦さんに長崎の福祉施設の方に講演していただくことになりました。どんな化学反応が起きるのか...楽しみ!





既製品ではない、きめ細かい対応が欲しい企業の方へ  
人手不足で困っている企業、官公庁の方へ  
社会貢献や人の気持ちがわかる人材育成でお悩みの方へ

長崎県CSR通信  
～ 第63号 ～

回覧用

## 障害者施設だからできるサービスに、企業、学校から続々と「ありがとう」が！

今年度から県は、障害者施設が農作業を請け負う仕組み作りに着手し、10月から諫早湾干拓内の農業生産法人**松山ファーム**(雲仙市愛野町)の広大な畑(東京ドーム約4個分!)で障害福祉サービス事業所**つくし学園**(諫早市小船越町)と**諫早ワークス**(諫早市目代町)の計10人の障害者のチームが、ビニールハウスの支柱を畑に挿す作業に取り組んでいます。今回は松山ファームの**松山哲治**取締役と、施設側の営業窓口の**川元輝国**コーディネーターにインタビューしました。

### 諫早湾干拓で、10人の障害者のチームが作業を実施中

- 支柱挿しを発注したきっかけは？

松山さん「諫早湾干拓事務所で、障害者のチームが農作業できると説明会があったんです。最初は、『ちょっと難しいかな?』と半信半疑でしたが、収穫と作付けの時期で人集めで苦労していたので、とにかく頼んでみようと考えました。」

松山取締役は、先進的な農業のあり方を模索されています。



- 発注した感想は？

松山さん「忍耐強く、コツコツやってくれますよね。予定より少し遅れ気味ですが、充分頑張ってもらっているので、ビニール張り作業も追加で発注することにしました。」

- ご満足いただけましたんですね。

松山さん「はい。春先にジャガイモの収穫をする時にコンテナ詰めをお願いすることも検討していますし、人手確保で困っていた瑞穂町の農業法人に施設のことを紹介したら、とても喜ばれました。」



作業チームのメンバーは、トレードマークの鮮やかなオレンジ色の帽子で、遠くからでも見つけられます

川元さん「1ヶ月間で、18ヘクタールの畑に支柱を挿す作業も、ゴールが見えてきたところです。

この方では無理かな?と思っても、時間をかければ、重度の利用者でも『もうちょっと深く』と指示できるようになります。やってみないとわからないですね。

発注者にも喜んでいただき、障害者も工賃が増える。この取り組みを県内に広めたいです！」

障害者施設では、観光名所「展海峰」の花畑の年間管理  
チラシのポスティング、封入作業  
幼稚園に、焼きたて無添加パンの配達  
キャンペーングッズの作製  
中学、高校での施設商品の販売会  
など、地域の皆さんのお役に立っています。

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」発行部数2563部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年11月12日(毎月第2・第4金曜発行)

バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索してください 「CSR」とは「企業の社会的責任」のことです。

施設の方限定のFAX通信(いつか公開します)を発行し始めたのは約3年前。国の監査を受けるにあたり最初の通信を見返したところ、「洗練されてない...(苦笑)」。継続し続けることで獲得した気づきは、ハンパな量ではありません。過去の通信を書き直したい欲求もありますが、そのままにしておこうと思います。



既製品ではない、きめ細かい対応が欲しい企業の方へ  
人手不足で困っている企業、官公庁の方へ  
社会貢献や人の気持ちがわかる人材育成でお悩みの方へ

長崎県CSR通信  
～第64号～

地域事例数  
No.1!

## 障害者施設だからできるサービスに、企業、学校から続々と「ありがとう」が！

先日、ある郵便局に行ったところ、局長さんのユニークなプロフィールが掲示されていたり、有名キャラクターのポチ袋が販売されていたりと、サービスが多様化したように感じました。

**大村荒瀬郵便局**(大村市荒瀬町)など大村市内の14局の郵便局で障害福祉施設**ワーキングヒルズ**(同町)の菌床生椎茸の地域限定版チラシを配布し、ゆうパックカタログ販売を促進しています。

今回は、大村荒瀬郵便局の**岡崎邦彦**局長と、ワーキングヒルズの**矢野武志**施設長にインタビューしました。

## 大村市内14局の郵便局が、障害者施設の肉厚椎茸をゆうパックカタログ販売

- 施設の椎茸をカタログ販売し始めたきっかけは？

岡崎さん「今年7月に大村郵便局で開催された『第2回大村物産展in郵便局』に椎茸を出展していただいた際、肉厚で美味しかったうえに、矢野施設長の前向きな人柄に惹かれたこともあって、ゆうパックカタログ販売をご提案しました。」



こちらを  
プレゼント！

施設の皆さんは、先日、大相撲の立浪部屋の力士と交流を深めました。



この日も椎茸の注文がありました。

チームワーク抜群の  
左から山下さん、  
岡崎局長、山崎さん



- お歳暮にかけて売れそうですね。

岡崎さん「今、大村市内14局の郵便局で地域限定版チラシを置いています。大村市内局長会議で『もっと椎茸を売って！』と盛り上げてきました(笑)。」

- 障害のある方の印象は？

岡崎さん「障害のある方は、黙々と熱心に作業されますね。だから、宛名書きや包装作業、名刺の印刷、バッジ作成など頼みたいことがどんどん広がっています。まず、名刺の印刷をお願いしたところですよ。」

矢野さん「当施設では採れたての新鮮な椎茸にこだわり、ゆうパックカタログ販売で1ヶ月弱で96セットも成約しました！

食べた方が再度注文されたり、お礼の電話をくださるのは嬉しいですね。

椎茸は、気温や湿度など微妙な変化に大きく影響を受けるので、本当に奥が深いです。障害のある方は菌床の運搬など頑張っておられるので、もっと工賃を上げられるよう頑張ります！」

### プレゼントコーナー

ワーキングヒルズの「生椎茸1kg」を5名様に「ポスト貯金箱」を3名様にプレゼント(写真上)ご希望の方は、お名前、電話番号、感想、ご希望の商品名を書いて、下のFAXへ  
**12月10日(金)迄**にお送りください。

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのまま返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2560部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年11月26日(毎月第2・第4金曜発行)

バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索してください 「CSR」とは「企業の社会的責任」のことです。



「地域間格差ではなく日本中が内需不振」「少々出生率が上がっても、少子化は改善しない」など独自の切り口で話題の藻谷浩介氏「デフレの正体」。「率」ではなく「絶対数」で物事を見ると、恐ろしい将来が分かりました。では自分に何ができるのか？難しいですが、自分の計画を実現できるよう、行動し続けます。



期間限定の人手確保で、お困りではありませんか？

長崎県CSR通信  
～第65号

地域事例数  
No.1!

障害者施設だからできるサービスに、企業、学校から続々と「ありがとう」が！

第34回日本農業賞の集団組織の部で大賞を受賞した**島原雲仙農業協同組合**(JA島原雲仙；島原市大手原町。受賞はJA島原雲仙島原市人参会)では、島原産の大量の人参の製品を並べる作業を、障害福祉サービス事業所**ネットワークセンターひかり**(同市萩が丘)の知的障害者の作業チームに委託しています。

今回は、JA島原雲仙島原地区営農センターの**園田博高**販売課長と、ネットワークセンターひかりの**嶋田誠士**サービス管理責任者にインタビューしました。

## 農協で、知的障害者のチームが大量の人参製品を並べる作業を実施中

- 障害者施設に作業を発注したきっかけは？

園田さん「私の前任のセンター長が、PTAで知り合ったネットワークセンターひかりの所長の菅さんと雑談しているうちに、知的障害者の作業の話になったのがきっかけで発注し始めました。

以前も、施設に発注していたので、不安や心配はなかったですね。」



園田課長(右)と大川さん。  
寒い中、お疲れさまです！

- 施設に発注して、メリットはありましたか？

園田さん「安全面も、箱をきれいに並べる点も、問題なく、熱心に仕事していただいています。

施設職員の方も付いているので、安心してお任せしています。」

- 取り引きが拡大することを希望します。

園田さん「知的障害のある方を雇用しているので、能力や得意な作業などもだいたい分かります。

人手が欲しい時に、他の野菜の作業もお願いしたいですね。」



完売確実の正月飾りを持った人参作業チームの皆さん。1日で40トン！もの人参を取り扱うことも。

嶋田さん「人参を並べる作業は、4人の少人数のチームなので、全員が責任感を持って、仕事をしています。

地域の方には、新聞紙などのリサイクルにご協力いただくなど、いつもお世話になっています。だから、私たちが地域に貢献できることを、地域の方と交流するなかで、探しているところです。」

身体・知的・精神障害者の施設は、観光名所「展海峰」の花畑管理、チラシのポスティング、封入作業、キャンペーングッズの作製、全国の少年院が感動のプロ和太鼓、中学、高校で施設商品の販売会など、皆さんの地域で頑張ってます！

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2567部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年12月10日(毎月第2・第4金曜発行)

バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索してください 「CSR」とは「企業の社会的責任」のことです。

「ドン・キホーテ」では、「圧縮陳列」という「隙間なく商品を並べ、買い物客に目当ての物を探し出させる宝探しの」(Wikipediaより引用)な手法で購買意欲を高めています。長崎駅前かもめ広場で13日(月)まで開催中の施設商品販売会「全国ナイスハートバザール」もまさにそれ。全国86施設2万5千点の商品から、宝は見つかるか！？



障害のある方と触れ合うことで、自然体の社会貢献が実現します。

地域事例数 No.1!

子育て支援活動をはじめ、様々な社会貢献活動に取り組んでいるアリコジャパン(長崎市常盤町)では、業務で使用後、再生した100台ものパソコンを「障害のある方の訓練に役立てて欲しい」と、長崎市内14の障害福祉施設に寄贈する式典を、長崎市内のホテルで開催しました。

今回は、アリコジャパン長崎事業推進室の緒方直樹課長と、パソコンを寄贈された施設の中から、障害福祉サービス事業所さんらいずの佐藤実職業指導員にインタビューしました。

アリコジャパンが、障害福祉施設に100台ものパソコンを寄贈

- 障害福祉施設にパソコンを寄贈した理由は？

緒方さん「当社は、20年以上も盲導犬育成プロジェクトに関わるなど、障害のある方との関係が深く、パソコンがお役に立てば、と考えたからです。」

- 障害者が作るお菓子を販売する機会もいただいています。緒方さん「今はお菓子だけでなく、小物なども当社内で販売していただいております。1回の売り上げは10万円以上と非常に好評です。」

障害のある方の所得向上の目的もありますが、社員が喜ぶという実利があるからこそ、続くのでしょう。」



アリコジャパン社内  
で2年以上も続いて  
いる施設のお菓子の  
販売会。

お目当ての商品が  
決まっている方も。

- あと、知的障害のある方を雇用し始めたそうですね。

緒方さん「ダンボール箱の解体や書類の仕分けをしていただいておりますが、正社員に登用した方は、働いているうちに知能指数が上がり、次回の療育手帳の更新で、再交付されるか微妙なほどです。」

仕事をするうちに能力が向上するのを目の当たりにして、驚いています。」



目録を持った14の  
施設の皆さんと、  
東京から駆けつけた  
アリコジャパンの  
島山執行役員(左下)。



タッチタイピングも  
お手の物でした!

佐藤さん「いただいたパソコンで、知的障害のある方々が、ワードやエクセルを学んでいます。」

パソコン操作が上達するのはもちろんですが、上達ぶりが数値でわかることで自信がついて、新しい事に挑戦できるようになる、落ち着いて行動するようになる、分からない時は人に聞けるなど、仕事の基礎力が高まっているように感じます。

できることを増やして、企業に求められる人材になって欲しいです。」

社会貢献については、  
ごうまなみさんインタビュー(長崎県CSR  
通信10号)もご参照ください!

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2560部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年12月24日(毎月第2・第4金曜発行)

バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索してください 「CSR」とは「企業の社会的責任」のことです。



「『人間は年をとる』ということがわかって」いるのが大人で、その事実を「わかっていない人が多い」... (石原明氏「気絶するほど儲かる絶対法則」)。僕もその1人かも(-\_-)。30歳代最後となる来年は、時間とお金を1つの分野に集中投下して、40歳代の生活の基礎を固めるつもりです。来年もよろしくお祈りします!



既製品ではない、きめ細かいサービスを求めている方へ。

長崎県CSR通信  
～ 第67号～

地域事例数  
No.1!

## 障害者施設だからできるサービスに、続々と「ありがとう」が！

年が明けて、いよいよ受験シーズン到来。「キットカット」や「カール」、「コアラのマーチ」など、お菓子が合格祈願用に衣替えしているのをよく見かけるようになりました。

名古屋市瑞穂区の**東海学習塾堀田教室**では、身体障害者授産施設**福祉の里松浦作業所**(松浦市御厨町)の**凧キーホルダー**を受験生にプレゼントして、合格祈願をしています。

今回は、東海学習塾堀田教室**高木宏明**塾長と、福祉の里松浦作業所**田中廣太郎**理事長にインタビューしました。

## 名古屋市の学習塾が、受験生の名前入り凧キーホルダーを障害者施設に発注

- 長崎の施設の凧を知ったきっかけは？

高木さん「5年前に、凧の見本が送られてきたんです。

上がるので、めでたいなと思い、凧に生徒の氏名と塾名を入れられるか問い合わせたところ、OK!とのことだったので、それ以来、毎年注文しています。」



合格忍者と名前入りの凧のキーホルダーを持つ織部さん(左)と西さん。試験頑張ってください！

- もらった生徒さんの反応は？

高木さん「試験前に凧をプレゼントしますが、自分の名前が入っているので、とても喜んでくれます。試験に向け、一層、勉強に力が入るようになりますよ。」

- 長崎の凧が、名古屋で使われているのは嬉しいです。  
高木さん「障害のある方が凧を作っていると知ったのは初注文の1年後なんです。

金額もお手頃だし、凧のデザインをお客に合わせて作ることができることを全面に打ち出せば、もっと広がっていくのではないのでしょうか。」

室内でも上がる蝶々さんをプレゼント！



凧作りの全工程が手作業。ミリ単位でこだわります！



田中さん「大阪大、中央大などが学章入りのミニ凧を、おみやげなどの用途でここ数年発注してくださっています。

また、どの国の子供も凧上げが大好きで、アメリカの日本人学校からご注文いただいたこともあります。

凧は、障害のある方が細かい作業をコツコツと頑張った集大成です。当施設の一番の売りの小回りの良さをいかしてお客様に『ここまでしてもらえた！』と喜んでいただきたいと思います。」

### プレゼントコーナー

室内でも上がる福祉の里松浦作業所の凧「蝶々さん」を20名！にプレゼント(写真上)ご希望の方は、お名前、電話番号、感想、「蝶々さん希望」と書いて、下のFAXへ**1月31日(月)迄**にお送りください。



本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」発行部数2570部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成23年1月14日(毎月第2・第4金曜発行)

バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索してください 「CSR」とは「企業の社会的責任」のことです。

ボクシングの練習で6年間使ったグローブを、年末にメキシコ製の本革モノに替えた(ちょっと奮発)んですが、これが手に馴染む！今まで以上に、練習が楽しみで仕方ありません。仕事も同様でしょうが、やる気の源はどこにあるかわかりませんね。今までの条件を変えてみると、思いがけない楽しみに出会うかも。

障害者施設だからできるサービスに、企業、学校から続々と「ありがとう」が！

今までも、施設で作る安全・安心のお菓子を購入している県内の保育園をご紹介しましたが、**松葉保育園**(波佐見町湯無田郷)では、知的障害者通所授産施設**コスモス苑**(東彼杵町蕪郷)で作られるポテトチップスなどのお菓子を、園児たちが喜んで食べています。

施設のお菓子のどんなところが気に入っているのでしょうか？

松葉保育園の**武宮恭子**園長と、コスモス苑の**中野春義**販売員にインタビューしました。

保育園児が大好きなポテトチップスは、知的障害者施設で製造

- 主に購入するお菓子は？

武宮さん「園児のおやつにはシフォンケーキとポテトチップスを出します。また、併設するお寺の会議でもコスモス苑のいろいろなお菓子をしますが、1番人気はチーズケーキです。」

- 子供はポテトチップスが大好きですね。

武宮さん「市販のポテトチップスは出ませんが、施設で作るジャガイモを使い、1つ1つ障害のある方が手作業で作る無添加の安全な商品なので特別です。

子供はあるだけ食べてしまうので、遠足や運動会用に50円のハーフサイズも作ってもらいました。」



ポテトチップス班メンバーの皆さん。  
市販のとはひと味違いますよ！(プレゼントあり!)

中野さん「ポテトチップスに使うジャガイモ(メークイン)は、試行錯誤を重ねた末にようやく見つけた種なんです。市販の商品に比べ、賞味期限が短いのは、防腐剤などを一切使っていない証拠でもあります。

ケーキの3本柱(チーズ、シフォン、ガトーショコラ)は、お手頃価格に加え、箱入りでおみやげにも適しているのでお勧めです！」

プレゼントコーナー

コスモス苑のポテトチップスを10名様にプレゼント！ご希望の方は、お名前、電話番号、感想、「コスモス苑ポテトチップス希望」と書いて、下のFAXへ2月14日(月)までにお送りください。



お待ちかねのおやつ時間。「ゴセイジャー」の話で盛り上がりました(笑)



先生もご自宅用にお買いあげ



- 作っている障害のある方はとても喜ぶと思います。

武宮さん「保育園は障害のある園児もお預かりしますが、職員は、そのご家族と向き合うなかで、ともに成長させていただきます。『工賃を1円でも多く払いたい』との施設の方の想いに応えたいですね。」

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2568部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成23年1月28日(毎月第2・第4金曜発行)  
バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索してください 「CSR」とは「企業の社会的責任」のことです。

全国の優秀な和牛の優劣を5年に1度競う「第10回全国和牛能力共進会長崎県大会」(平成24年10月開催)のキャンペーングッズに、前号で紹介した凧が採用されました(写真右)。遊んでも、飾ってもいい。県庁農林部内でも大人気だそうです(^) かわいいでしょ





障害者施設だからできるサービスに、企業、学校から続々と「ありがとう」が！

常用雇用労働者が201人以上いる企業が、障害者雇用納付金制度の対象になる(平成22年6月から)など、今後、障害者と企業のつながりが深くなるのは確実です。

ダイハツ長崎販売(長崎市目覚町)では、鶴南特別支援学校(長崎市蚊焼町)や、障害福祉サービス事業所ワーキングヒルズ(大村市荒瀬町)の障害のある方に、洗車や車室内清掃等の業務を体験(ワーキングヒルズはダイハツ大村店で実施)する機会を提供しています。

今回は、ダイハツ長崎販売の奥田正弘部長と田邊進一郎課長、ワーキングヒルズの岩本知大就労支援員にインタビューしました。

ダイハツ長崎販売で、知的障害者が洗車などの職場実習

- 施設の方を実習生として受け入れるきっかけは？

田邊さん「数年前から実習生を受け入れていた鶴南特別支援学校の吉次宏二先生から施設をご紹介いただきました。障害のある方の仕事ぶりも分かっていたし、『頼まれごとは、試されごと』がモットーなので(笑)。」

- 不安はありませんでしたか？

奥田さん「最初は不安でした。でも、時間はかかっても、もくもくと丁寧に車を拭かれているので、今では、常務も担当スタッフも喜んでます。」



車が大好きな中嶋輝雄さん。夢に向かって頑張ってください！

岩本さん「大村店で実習している中嶋さんとは『スタッフの方の名前を覚える！』など、毎日、目標を作っています。車が大好きなので、1日が終わって、『楽しかった！』と全然疲れてないんですよ(笑)。

企業にとって、いきなり雇用するのは難しくても、実習なら始め易いと思います。『まずは実習から！』を合い言葉に、企業の方に理解していただきたいです。」



奥田部長(中央)と田邊課長(右)。授乳室もできたので、小さいお子様も一緒に

2007年、ダイハツ工業が本県に4台寄贈した福祉車両



- 実習生も貴重な経験になるはずですよ。

奥田さん「実習初日はスタッフ全員の前で自己紹介し、最終日にはお礼の挨拶をしてもらいます。緊張して声が出ないこともありますが、社会人として必要なことですからね。」

田邊さん「実習生が書いた『職場体験実習努力目標』を、パソコンで打ち直しラミネートしてプレゼントすると、とても喜ばれるので、大切にしてもらえたら嬉しいです。」

身体・知的・精神障害者の施設は、観光名所「展海峰」の花畑管理チラシのポスティング、封入作業 全国の少年院が感動のプロ和太鼓 中学、高校で施設商品の販売会 など、皆さんの地域で頑張ってます！

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2565部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成23年2月11日(毎月第2・第4金曜発行) バックナンバーは、「長崎県CSR通信」で検索 「CSR」とは「企業の社会的責任」ですが、行政も含む「全市民(Citizen)の責任」ですよ。

「舞台は病みつきになるよ。テレビと違って、お客の反応がリアルに分かるから。」ある番組での、志村けんさんから吹石一恵さんへの発言です。私にとって、FAXへの感想がまさに「お客の反応」。不思議なのは、否定的な反応でさえ嬉しいんです(変な意味じゃなく(汗))。手応えのある仕事ができることに感謝です！



# オーダーメイドにとことんこだわった、 安心して食べられるお菓子を求めている方へ

長崎県CSR通信  
～第70号

地域事例数  
No.1!

## 障害者施設だからできるサービスに、企業、学校から続々と「ありがとう」が！

早いもので、もうすぐ3月。県内の学校で卒業式が始まり、学舎を跡にすることになるんですね。  
**鶴南特別支援学校**(長崎市蚊焼町)では、障害福祉サービス事業所さんらいず(同市坂本町)で障害のある方が製造する焼き菓子のギフトセットを、PTAから小学部、中学部、高等部の卒業生にプレゼントしています。

今回は、鶴南特別支援学校の**吉次宏二**先生と、さんらいずの**出口真**生活支援員にお話をうかがいました。

## 特別支援学校の卒業生へのお菓子ギフトは、障害福祉施設で製造

- 施設に発注するきっかけは？

吉次先生「以前の卒業用ギフトは饅頭でしたが、日持ちしないので、困っていました。そこで、高等部の生徒が現場実習でお世話になった企業にお礼として渡していた施設のお菓子が好評だったので、頼むことにしました。」

- 発注して、良かったことは？

吉次先生「『卒業おめでとう』の短冊付きで、かわいい感じの箱入りなので、卒業にふさわしいです。また、時津分教室には、たった3個でも配達してくれるので、助かっています。」



さんらいずの皆さん。販売にも出かけるので声をかけてくださいね！

出口さん「お中元やお歳暮、卒園式バレンタインなどイベントに合わせてお菓子のギフトを作っています。結婚式の引き菓子でもご利用いただけますが、特に、チョコチップクッキーやマーブルクッキーは、若い女性や小さなお子さんにご好評いただいています。

ほぼ全ての製造工程を障害のある方が担えるようになりました。紹介で購入される方が増えてきたので、とても嬉しいです！」

### プレゼントコーナー

さんらいずのお菓子詰合せ(2000円相当)を5名様にプレゼント お名前、電話番号、感想、「さんらいずお菓子希望」と書いて、**3月7日(月)迄にFAXを！**



進路指導ご担当として  
休みなく企業や施設を  
訪問されている吉次先生



見た目も鮮やか！な  
ギフトです

- 施設のお菓子が広がるといいですね。

吉次先生「卒業生の多くが施設を利用することになります。だから、社会参加の機会を増やすために、施設には、校内でのパン販売や、同窓会の案内ハガキ印刷を頼んでいます。

異動の時期なので、転勤の挨拶ハガキも施設に発注していただけたらいいですね！」

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2564部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成23年2月25日(毎月第2・第4金曜発行) バックナンバーは、「長崎県CSR通信」で検索を 「CSR」とは「企業の社会的責任」ですが、行政も含む「全市民(Citizen)の責任」ですよね。

佐世保出身の原田泳幸氏が代表の日本マクドナルド。創業者の故藤田田さんの著書がとにかく面白い。ハンバーガーなど商品の秘密を明かしまくっています。特に「シェイクを吸い込むスピードが、母乳と一緒に」というのには驚きました。人間の本能がわかっている...売れる商品には理由があるんですね。